

■ 令和5年度 第3回足近小学校学校運営協議会 議事録

1 日 時:令和6年2月8日(木)10:30~12:00

2 出席者:学校運営協議会委員 11名

3 内容

(1) あいさつ(会長)

風が冷たい中で、子供たちは元気に走り回っている。落ち着いて勉強をしている。足近フェスティバルでは趣向を凝らした発表があり、足近小学校の歴史の重みを感じた。

(2) 授業参観

*各学級2分ほど参観

(3) 協議等

*教育活動アンケートについて

今年度中に公表する。保護者の意見については、回答を入れ示していく。

*令和6年度の学校運営方針について

・温かく優しい、よく頑張る子が多い。わかっていればできるが、自分で判断し動くことが難しい。

教えなくてもできる力を育てていくことが課題。

・教育目標は現在のまま、根底にあるのは「安心・安全な学校」。学習モラルがあることで、安心して学べる学校を目指す。

・学校運営協議会との連携として、部会の在り方を見直していく。委員を部会に割り振って、活動を考えてもらいたい。

【委員】地域に愛情・誇りをもてる教育は歴史教育が必要。大人になってから「こうゆうことだったのか」と知ったこともある。校歌に「歴史豊かな～」とあるが、先生たちは説明できないとダメ。

*令和6年度の学校運営協議会委員について

充て職に変更がなければ提案通りにする。

(4) 意見交流

【委員】人の意見をよく聞いている、素晴らしい授業だった。

【委員】1年生でも手を挙げて発言していく良い授業だった。

構想の中に「正しく受け入れられる雰囲気」とあるが、足近は他地域から来た時に受け入れられにくい地域と感じた。こんなことではだめだ。変えていきたい。

【委員】花活動を毎年続けていると率先してくれる子が増えてきた。土入れをしていると寄ってきてやってくれる。周りを見て覚える積極的な子が増えている。続けていくことで、土や花をさわっていくことを大事にしたい。

【委員】 アンケートで行事についてあるが、まだコロナ・インフルが流行っている。人が集まればうつる。たった一人の「怖くない」でみんなにうつることを考えてもらいたい。

足近小の不登校はどんなものか？

〈校長回答〉

【委員】 読み聞かせをまたやりたい。「楽しかった」と言ってくれた。来年度も一人暮らしの高齢者との交流や読み聞かせなど、同様な活動をしてもらいたい。

【委員】 来校したときに、回り込んで目を見て元気なあいさつをしてくれた。1年生の発言をする人を見て「思いやりキャンペーン」が素敵。思いやりが育っている。

保護者の意見は自己主張が強い。なかなか声を出せない人・発言できない人・周りを見れる人になれるように、先生自身が見せていくこと大事。

6年生卒業合唱復活させてほしいという意見をきいた。1月のマラソン大会の参加者が少なかった。呼びかけてほしい。

【委員】 授業は1年生を含め、みんな背筋が伸びていた。姿がやる気のバロメーター。

読み聞かせは、以前は2名であったが、今年は10人態勢でできた。いろんな人がかかわっていき良い広がりができた。

【委員】 地域行事連携では、子供も大人も楽しんでいて良かった。

1年生の授業では、4月からみて、意見を言えるようになっていて、成長を感じた。

【委員】 学校運営協議会の会合の時しか来ないので、子供たちとなるべく接する機会がほしい。分かり合うには話してみないと分からない。ラインでは要件は伝わるが、どう思っているか伝わらない。もっと密にしていけたらと思う。

(5) 閉会の挨拶(会長)

学校運営協議会は、地元に住んで学校を支えていく立場。我が子が巣立っても、学校が地域の基本なので、これからもお力を賜りたい。